

ひろかわSDGsプロジェクト

SDGs: 目標4「質の高い教育をみんなに」

達成のために広川で頑張っている人 → 学習支援活動を支える人々

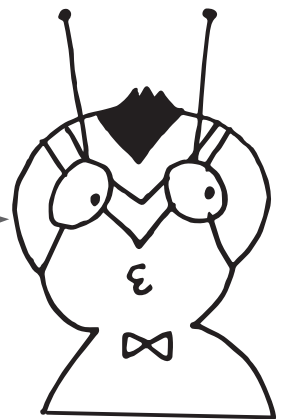
全国各地で行われている学習支援活動が、広川町でも行われています。例えば久泉区では、月に一度、地域のボランティアが主体となって、子どもたちの学習を支援しています。退職した教職員なども参加し、子どもたちの習熟度に合わせた算数や漢字の学習プリントをもとに、ていねいに指導しています。

塾よりも安価で、地域の人がみんなで子どもたちの成長を見守ることができる学習支援活動。貧困の連鎖を作らないための取り組みとしても注目されています。

あなたの周りに学習で困っている子どもはいませんか？ もしいるのなら、あなたも学習支援活動を始めてみませんか？



教育と貧困は切っても切れない関係にあります。教育が行き届かないと必要なスキルが身につけません。スキルがないとなかなか仕事に就けません。仕事に就けないとお金がもらえません。お金がもらえないと教育に投資できません。だからこそ、貧困の連鎖を断ち切るために教育への支援は欠かせないのです。もちろん、多くの子どもたちに届けることができる学校教育の力は大きいですが、しかし、地域の教育力も同時に育てていかないと、取りこぼされる子どもたちが出てきます。質の高い教育を「みんなに」届けるために必要なのは「あなた」の力です。



SDGsマン

より深く知るために、次のようなキーワードで検索してみましょう。

学習支援事業 教育 貧困

広川文芸

ひろかわ俳句会



櫻の会

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 八歳の児等にきかせる『大空襲』命の重みしつかり伝へる
満開の桜を見上げ佇みぬ元号は「令和」さあ どう生きる
桃花見雨の音までかき消して笑ひ声満つ熟女のテーブル
この町に移り住みきて四十年いまだに恋しき屋久の山々
一度とて棄権はしないと決めてゐる腰を伸ばして地方遠に行く
花粉症にうらめし青空見上ぐれば庭の木蓮上向きに咲く
清水山へさくら満開友五人洋裁なまかに吾も加はる
生れし孫は足タグのまま退院日そつと外して『百花』で帰る
絹の雨ははの御声となりて降るこのままずっと頬を濡らさう | 野中 勝美
濱武美智子
細川 徳子
山崎美代子
池田 和代
中倉 明美
中嶋 玉子
一瀬砂智子
青木佳代子 | 啓蟄や「せな」のあんよも日々確
夫と聴くジャズの調べや木の芽風
雛かざる去年より重き手の運び
春の雲おとぎの世界広げをり
廃屋に木蓮の芽は賑はひて
たらの芽のいまかいまかと食べごろに
白魚の命をつまむ箸の先
明るさのなかに庭木の芽立ちかな
味噌多き男料理の木の芽和
それぞれに進路決まるや木の芽吹く
故郷に帰る好漢山笑ふ
移植すと決めし銀杏の芽吹きかな | 松延 朝美
水本 艶子
結束 節子
柴田 眞理
酒井 司
水本 辰次
一瀬砂智子
美座 時朗
山崎 陽子
青木佳代子
原口あつ美
野中 勝美 |
|--|---|---|---|

期待を胸に、新生活スタート 広川中学校入学式



4月9日(火)、広川中学校で入学式が行われました。今年は5クラス計196人の新入生が真新しい制服に身を包み、中学生としての第一歩を踏み出しました。

式では古川校長から「これからの中学校生活では『自分を大切にすること』『自ら気づき、考え、実行すること』の2点を意識してほしい」「ともに誇れる広中を築いてほしい」と式辞が述べられました。新入生代表の霧久堪太さんは、「バスケットボール部に入部し、一生懸命練習に励みたい」「友達をたくさん作りたい」と決意を語ってくれました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！



町民を守るために 消防ポンプ自動車購入

広川町消防団第2分団(区域…一応・吉常・六田・久泉・増永・扇島)の消防ポンプ自動車を広川町が購入し、3月22日(金)、広川町消防団へ引き渡されました。

町民の皆さまの生命・身体・財産を守り、防災面での期待・要望にこたえられるよう、消防団員はより一層の訓練、点検に励んでいきます。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願ひします。

広川町消防団



緊張と笑顔の第一歩 上広川小学校入学式

4月10日(水)、町内の各小学校で入学式が行われました。今年の上広川小学校26人、中広川小学校121人、下広川小学校44人の計191人の児童が各小学校へ入学しました。

上広川小学校の新1年生は、壇上で話す人が「入学おめでとうございませう」と言うと、大きな声で「ありがとうございます」と返答。元気な新入生たちへ、塚本校長から「おはようございます、ありがとうございます。みんなさいの3つの言葉を大切に伝えるようになってください」と歓迎の言葉が贈られました。

新入生の皆さん、これから6年間、楽しい学校生活をお過ごしください。



文部科学省で行われた表彰式にて。山村文子さん（左）と宮田文化庁長官（右）。

日本の文化財保護に貢献 山村文子さんが文化庁長官表彰

永年「久留米絨」の製作に携わってきた長延上区の山村文子さん、2018年度の文化庁長官表彰を受けました。

久留米絨は1957年に国重要無形文化財に認定された、広川町の特産品。山村さんは後進の育成や久留米絨の保存・伝承に寄与し、日本の文化財保護に貢献したとして表彰されました。

文化庁長官表彰は、文化活動に優れた成果を示し、日本文化の振興や海外発信、国際文化交流に貢献した人々の功績をたたえ、文化庁長官が表彰するもの。2018年度は全国で86人が選ばれ、3月18日(月)に文部科学省で表彰式が行われました。